

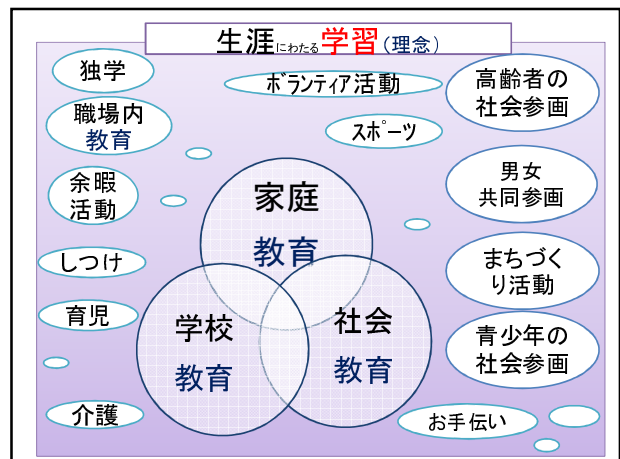
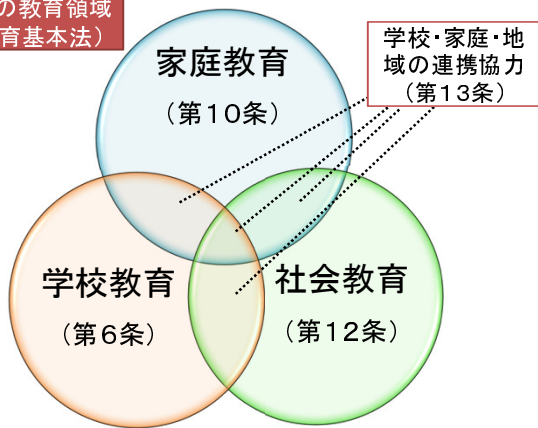
学習プログラム開発の基礎

ねらい：学習プログラム開発の基礎知識と作成する際のポイントを理解する。

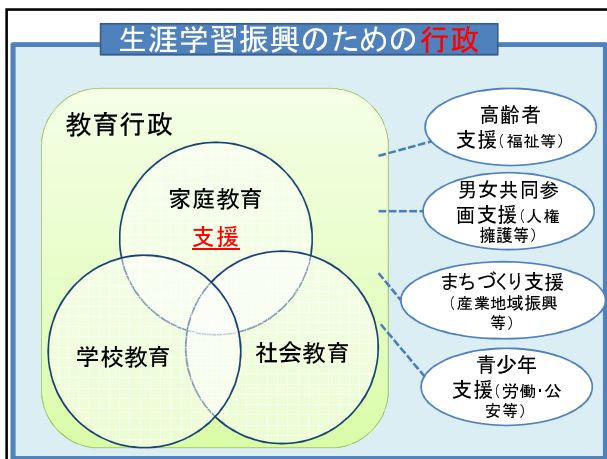
本時の目標

- ・学習プログラム開発に必要な基礎知識(基礎用語)を理解する。
- ・学習プログラムを開発する手順と、作成の際のポイントを理解する。

3つの教育領域 (教育基本法)



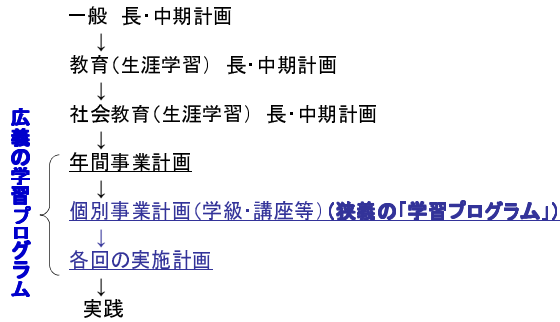
生涯学習振興のための行政



学習プログラム(個別事業計画)とは

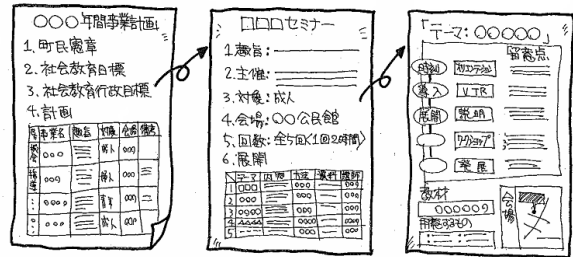
集合的な学習機会(学級・講座、行事、集会等)において、
 人々の学習を具体的な活動レベルで、どんな目標のもとに、どういう活動を、どんな順序で行い、どんな学習成果を生み出す(学習者の態度変容をもたらす)か、
 という一連のプロセスに関連する学習活動計画をまとめたもの。

社会教育にかかる計画の構造と
学習プログラムの位置

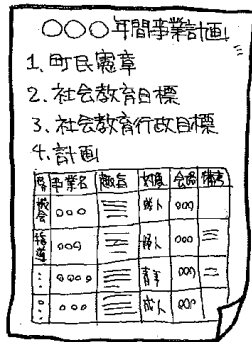


3つの段階の計画

年間事業計画 個別事業計画 各回の実施計画



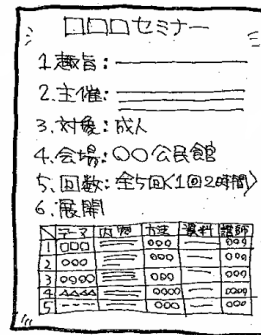
年間事業計画



1年間にわたるすべての学習機会や学習支援をまとめた実施計画

(例) 〇〇町家庭教育支援年間計画

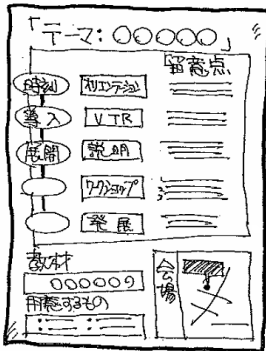
個別事業計画(学習プログラム)



個々の事業ごとに
つくられる運営計画

(例) 親の力をまなびあうセミナー

各回の実施計画



各回ごとの詳細な活動内容や順序、流れが示されたもの

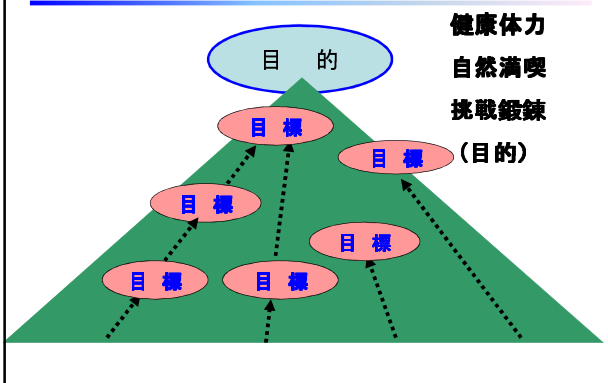
(例) 第1回セミナー実施計画

学習プログラムの構成要素

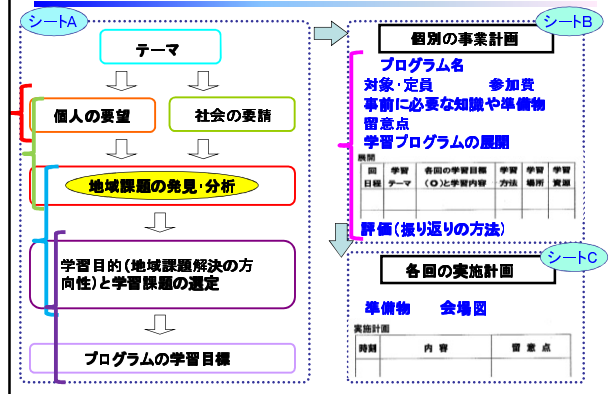
学級・講座、行事、集会等の集合学習の機会において、住民の学習を支援するための計画

- どのようなことを**目的**とし
- どのような**目標**をもって
- どのような**活動**を
- どのような**順序**で行い
- どのような**学習成果**を生み出すか
(学習者の意識や態度、行動の変容をもたらすか)

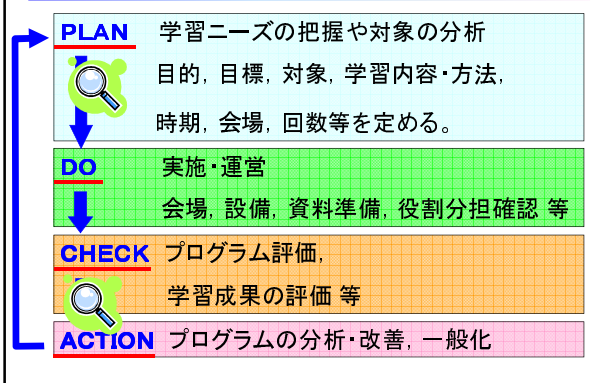
目的と目標の関係



学習プログラム開発の進め方 (PLAN)



学習プログラム企画・立案の過程



テーマについて

- この研修では、学習プログラムの**作成手順を学ぶ**ために、グループで1つ学習プログラムを作成していきます。
- 青少年教育、高齢者教育、家庭教育支援の3つからテーマをグループごとに選んでもらいます。
- 発表の都合上、1つのテーマについて2グループまでと制限させていただきます。

グループで話し合い、第一希望から第三希望まで順位づけてください

グループワーク①

「個人の要望」と「社会の要請」を診断する

グループワーク②

「個人の要望」と「社会の要請」から地域課題を設定する

グループワーク③

地域課題から学習目的を設定する

グループワーク④

学習目的から学習目標を設定する

グループワーク①

「個人の要望」と「社会の要請」を
診断する
(学習ニーズの診断)

- ・地域に必要なプログラムとは？
- ・地域課題を解決・改善するプログラムとは？
- ・たくさん人が集まるプログラムとは？
- ・お金がかからずできるプログラムとは？

地域課題をとらえるために

- 個人の要望(要求課題)と社会の要請(必要課題)を把握する。



* ニーズに関するアンケート調査の長所・短所

長) 説得力・根拠のある数値的な資料 資料3~6参照

短) : 手間・時間・コストがかかる割には、全国調査の動向とそれほど変わらない

: 知らないことに対するニーズは生まれない

: 「ないよりはあった方がいい…」がみんなの本音

①「個人の要望」と「社会の要請」

シートA

できるだけたくさんあげていきましょう!

「個人の要望」

住民の学習ニーズ

【調べる方法】

住民調査(アンケート)、
日常的な住民との交流

資料3~6と、皆さんの日頃の経験を活かしながら、テーマに関連する課題・要望をあげていく。

「社会の要請」

行政・振興区の重点課題・
施策の方向、地域の課題

【調べる方法】

行政資料(総合計画、
基本計画)、
広報資料、統計資料、

資料1・2を使用して、テーマに関連する課題・政策方針をあげていく。

グループワーク②
「個人の要望」と「社会の要請」から
地域課題を設定する

②地域課題の設定



「個人の要望」と「社会の要請」



地域課題

地域で解決しなければならない課題

地域住民の求めに応じていくべき課題

②地域課題の設定



個人の要望

: ゴミに関するトラブルが地域満足度を下げる最大要因であり、自分の地域でもよく起こっている。

社会の要請

: 市民協働のまちづくりを進めたい

2つをバランスよく組み合わせて、地域課題を1つ設定する

地域課題

【例】住民がゴミ問題などの地域のトラブルの解決に向け、自主的に取り組んでいけるような機会をつくりだしていくことが必要。

グループワーク③

地域課題から学習目的を
設定する

③学習目的の設定



地域課題

地域で解決しなければならない課題，地域住民に提供しなければならない



住民自らが、学びを通して地域の問題・課題を解決していけるようになるために、「学習」の場を作っていく。

学習目的

●“地域課題”を解決することにより，どのような状態に変えたいのか。

③学習目的の設定



地域課題

住民がゴミ問題などの地域のトラブルの解決に向け，自主的に取り組んでいけるような機会をつくりだしていくことが必要。

学習目的

性別のよいゴミ問題を暫く放置し、ゴミ問題を解決しよう。
「社会教育」では解決できない？

【例】

身近な問題について話し合えるような、住民ネットワークを形成する気運を高める。

③学習目的の設定

(地域課題解決の方向性を示す)

どのような課題を，どのような状態にするのか？

地域課題を

こうなってほしいという理想的な状態を考えてみる。

(学習目的の例文)

▲▲(地域課題)を●●●(意図)ようにする。

※「●●●ようにする」の部分は，理念的なものでもよい。

- ・豊かな心を育てる。・道徳心を養う。・仲間意識を育てる。
- ・人材を育成する。・ネットワークを形成する。・地域の活性化を図る。

グループワーク④

学習目的から学習目標を設定する

④学習目標の設定

学習目的



学習目標

●学習によって，地域住民にどんな知識・意識・態度を身につけてほしいのか。

④学習目標の設定



学習目的

身近な問題について話し合えるような、住民ネットワークを形成する気運を高める。



学習目標

④学習目標の設定

学習者に、どのような活動によって、どのような知識や技能を身につけてもらいたいのか、あるいは、どのような意識を向上したり、価値感を養ってもらいたいと考えているか？

- ①知らないことを知るようになること
- ②できないことができるようになること
- ③意識を変えること

- ・主語は必ず学習者
- ・目標は必ずそのプログラム内で達成できるもの
- ・達成したかどうかを確認できるもの

学習目標 ①知らないことを知るようになること
→知識・理解・判断

(例文)

・ゴミのリサイクルについて学ぶことにより、適切なゴミの分別作業をすることの重要性を理解する。

・不適切なゴミ投棄による被害を知ること、ゴミ収集所付近の住民が困っていることを理解する。

…を学ぶことによって、〇〇〇について判断できるようになる。

学習目標 ②できないことができるようになること
→技能・表現

(例文)

・お互いに気持ちよくなるコミュニケーション技術を身につけることにより、地域住民同士が率直な意見交換をすることができるようになる。

・パソコン教室でインターネット掲示板の利用方法を学び、ゴミの収集方法が理解しやすいインターネット掲示板を立ち上げ、運営できるようになる。

…を体験することにより、〇〇〇について表現できるようになる。

学習目標 ③意識を変えること
→関心・意欲・態度

(例文)

・気軽に集まれる地域サロンを企画・運営する活動を通じ、地域交流の楽しさを実感する。

・子ども達と共に楽しく町内の清掃活動を行うことにより、ゴミ問題や環境保全の意識・意欲を高める。

…に参加することによって、〇〇〇への考え方(意識)を広げる。

④学習目標の設定

学習者に、どのような活動によって、どのような知識や技能を身につけてもらいたいのか、あるいは、どのような意識を向上したり、価値感を養ってもらいたいと考えているか？

- ①知らないことを知るようになること
 - ②できないことができるようになること
 - ③意識を変えること
- ②・③を必ず
1つ入れ
2つ以上設定

* 生涯学習・社会教育の場合は、②・③が重要

- ・主語は必ず学習者
- ・目標は必ずそのプログラム内で達成できるもの
- ・達成したかどうかを確認できるもの

これまで

シートAの完成

これから

シートBの作成について

シートB

1 学習目的

2 学習目標

学習課題を学習目標として文章化する。
 ①学習活動の指針となる目標が設定されているか。
 ②学習者に求める知識・意識・態度が目標として示されているか。
 ③具体的でわかりやすい言葉で示されているか。
 (シートAから転記)

どのように地域課題を解決し、どのような状態にしたいのかを文章化する。
 (シートAから転記)

3 プログラム名

魅力的で夢があるもの
 ・学習目標が伝わるもの
 ・ユニークで、短く、人の心をキャッチするもの

4 対象・定員

目的や目標に合わせて絞り込む。

5 参加費

施設使用料、食費、材料費、保険料計〇〇〇円(申込時払い)など、内訳や集金日時をはっきりさせる。

6 事前に必要な知識や準備物

7 留意点

いざというときの医療機関の情報収集、しおりやアンケートの作成、必要物品の手配

安全面の配慮、プログラムを通しての配慮(子ども、高齢者ならでの配慮も必要)

8 学習プログラムの展開 個別事業計画についての説明

回・日程	学習テーマ	各回の学習目標(◎) 学習内容	学習支援者	学習場所	評価(振り返りの方法)
第1回〇月〇日 10:00~16:00			講師、指導者、ボランティア		学習成果の評価については、3日目にはたいたいの方法を記しておく。
		◎参加者が…によって、〇〇になる。 【講義】 ①…を知る。(〇〇分) ②…を聞く。(〇〇分) 【ワークショップ】 ③…を話し合う。(〇〇分) ④…を計画する。(〇〇分) ◎アンケート記入をする。(〇〇分)		〇〇公民館 〇〇研修室 〇〇公園等	

チラシに掲載する各回のテーマを内容がわかるように、簡潔に書く。

プログラムの内容についての注意

- 必ず3回以上の連続講座を計画
- 学習・活動の成果が、次の回の学習活動に活用できるように、各回の流れを工夫する
 - : 活動の系統性・連続性を重視
 - : オムニバス形式はよくない
 - : 計画→練習・準備→発表など

参考資料

平成22・23年度生涯学習振興・社会教育関係職員等研修初級研修資料
 (広島修道大学教授 山川尚美、広島経済大学准教授 志々田まなみ)

「生涯学習支援のための参加型学習のすすめ方」
 廣瀬隆人・澤田実・林義樹・小野美津子著

広島県立生涯学習センターホームページ「研修情報事業・学習プログラムの作り方」